



今回のブース出展のために、パネルを準備したのですが、目指したのは「映画のポスター」です。

場所は、津田ふるさと海岸。時は、1月3日午前7時。日の出前の奇跡のようなこの景色の写真を見た時、心がときめき、希望を感じました。

普段から、この景色を撮り続けているカメラマンいわく、一年に数回しかこの色の海は見られないそうです。

そんな貴重なタイミングを切り取った朝焼けの海に、当ステーションの合言葉である「支える思いを形にする」という言葉が相俟って、今にも物語が始まりそうな気がします。（今は、つるわクリニックの待合室に飾っていますので、是非、ご覧ください。）

さて、今回のメイン講演は、横浜市のめぐみ在宅クリニックの小澤先生による「人生の最後まで穏やかに過ごせるために」でした。ご講演の中で、先生は、昭和歌謡曲の歌詞の解説を巧みに織り交ぜながら、「穏やかであること。Well-Being」というキーワードを何度も繰り返していました。

人が生きていく中で、いかに穏やかであるかというのは、子供から大人、高齢者においても、とても難しく、難しいからこそ、皆で分かち合っていくことが大切なんだと感じました。

「誰かを支える人ほど支えを必要としている」という先生の言葉が一番印象に残っています。その言葉を肝に銘じて、日々過ごしたいです。

事務長 高橋 圭位子